

研究発表会 一般講演会

2026年2月28日(土)

北海道大学学術交流会館・小講堂
参加費無料・事前登録制

北海道の山岳研究

— 日本国内の極域環境変化 —

開場 9:00

(9:10- 開会あいさつ)

午前の部

研究発表 9:20- 「西ヌプカウシヌプリの永久凍土」・「置戸町中山の風穴」・
「雌阿寒岳の土石流」・「アポイ岳のヒメチャマダラセセリ」・
「大雪山のラウスゲ」・「大雪山の池沼」・「高山植物の開花時期」

午後の部

研究発表 13:30- 「北海道の多年性雪溪」・「大雪山雪壁雪溪」・
「羊蹄山の永久凍土可能性」・「大雪山の永久凍土変化」
「大雪山小泉岳のハイマツ」

特別講演 16:00-17:00

「人はなぜ高い山へ向かったのか
— 大雪山の先史遺跡」

中沢祐一 北海道大学博物館

会場: 北海道大学

学術交流会館・小講堂

総合討論 17:00-



連絡先: 講演会事務局 (giwahana@alaska.edu)

主催: 岩花 剛 (北大北極センター・アラスカ大)

曾根敏雄 (北大北極センター)

後援: 日本雪氷学会北海道支部／北海道地理学会／

北海道大学北極域研究センター／

氷河・雪氷圏環境研究舎／自然冷熱機能研究会

Zoomによるオンライン同時開催

会場では各自の感染予防対策・禁煙をお願いします。

事前登録先



* オンライン事前登録先 (会場参加の方も以下からご登録ください。)

<https://alaska.zoom.us/meeting/register/RHspnL1GQG-QF4HuWMQNmg>

北海道の山岳研究 ―日本国内の極域環境変化―

日時： 2026年2月28日(土) 9:20～17:30
場所： 北海道大学・学術交流会館・小講堂

<https://www.hokudai.ac.jp/bureau/property/s01/access/>

*参加無料・事前登録が必要です。

発表者（演者）		発表題目	所属
9:00		開場	
9:20	— 9:30	岩花 剛	開会の辞（発表15分/質疑応答5分）
9:30	— 9:50	澤田結基	然別火山群西ヌブカウシヌブリの永久凍土分布地における地温の長期変動
9:50	— 10:10	曾根敏雄	置戸町中山、春日風穴の温度変化
10:10	— 10:30	石丸 聡	凍結・融雪期の大雨により生じた雌阿寒岳の土石流 ：2008年5月の大雨による事例
10:30	— 10:40		休憩
10:40	— 11:00	渡辺康之	日高山脈の高山性鱗翅目とアポイ岳のヒメチャマダラセセリの保全について
11:00	— 11:20	中川博之	大雪山で発見されたラウススグ Carex stylosa
11:20	— 11:30		休憩
11:30	— 11:50	鈴木暁音	高山植物の開花時期と結実・種子食害の関係
11:50	— 12:10	高橋伸幸	大雪山高山帯における2つの池沼について
12:10	— 13:30		昼食（近くの飲食店をご利用またはお弁当をご持参ください。）
13:30	— 13:50	亀田貴雄（金井琉二）	人工衛星Sentinel-2の画像を用いた北海道の多年性雪渓の融雪期の経年変化
13:50	— 14:10	亀田貴雄	大雪山系雪壁雪渓の研究（Ⅰ） —2023年、2024年雪壁雪渓の完全消失および1964年から2025年までの53年間の 質量収支の変動—
14:10	— 14:30	高橋修平	大雪山系雪壁雪渓の研究（Ⅱ）—熱収支を考慮した融雪係数の算出—
14:30	— 14:45		休憩
14:45	— 15:05	白岩孝行	羊蹄山山頂部における永久凍土の存在可能性
15:05	— 15:25	岩花 剛	大雪山の永久凍土環境 20年間の変化
15:25	— 15:45	助野実樹郎	大雪山・小泉岳周辺におけるハイマツのシュート成長と球果生産
15:45	— 16:00		休憩
16:00	— 17:00	中沢祐一	人はなぜ高い山へ向かったのか ― 大雪山の先史遺跡
17:00			総合討論
		曾根敏雄	閉会の辞
18:30			懇親会

参加は無料ですが、2月27日までに事前登録が必要です。

登録先: <https://alaska.zoom.us/meeting/register/RHspnL1GQG-QF4HuWMQNmg>

主催: 岩花 剛・曾根敏雄（北海道大学北極域研究センター）

後援: 北海道大学北極域研究センター/日本雪氷学会北海道支部/北海道地理学会/氷河・雪氷圏環境研究舎/自然冷熱機能研究会

連絡先: 岩花 giwahana@alaska.edu

